

## 2021年5月期 第3四半期 決算概要

- 人材派遣事業、人材紹介事業は前年同期比で下回っているものの、期初からは減少幅は緩やかに回復。BPOサービスが引き続き伸長し、全体売上を押し上げたことから、売上高は244,670百万円（前年同期比+2.2%）と増収
- 売上総利益は、BPOサービス、アウトソーシングサービスの増収に加え、再就職支援事業が拡大したことにより、61,029百万円（同+9.7%）と増加。また、販管費が減少した結果、営業利益は14,512百万円（同+147.8%）
- 経常利益は14,622百万円（同+163.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,582百万円（前年は568百万円）
- 業績動向を踏まえて、通期連結業績予想の修正及び期末配当予想を修正

### 1. 第3四半期連結業績（2020年6月1日～2021年2月28日）

（百万円）

	2020年5月期3Q	2021年5月期3Q	増減	増減率
売上高	239,348	244,670	+5,322	+2.2%
売上総利益 (売上比)	55,631 23.2%	61,029 24.9%	+5,398 +1.7pt	+9.7%
販売費及び一般管理費 (売上比)	49,774 20.8%	46,517 19.0%	△3,257 △1.8pt	△6.5%
営業利益 (売上比)	5,856 2.4%	14,512 5.9%	+8,656 +3.5pt	+147.8%
経常利益 (売上比)	5,554 2.3%	14,622 6.0%	+9,068 +3.7pt	+163.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (売上比)	568 0.2%	5,582 2.3%	+5,014 +2.1pt	+882.9%

### 2. セグメント別連結業績（セグメント間取引消去前）

（百万円）

	売上高	前年同期比		営業損益	前年同期比	
エキスパートサービス（人材派遣）	111,186	△1,345	△1.2%	13,241	+7,916	+148.7%
BPOサービス	82,403	+10,190	+14.1%			
HRコンサルティング、教育・研修、その他	5,326	△1,878	△26.1%			
グローバルソーシング（海外人材サービス）	5,062	△853	△14.4%	32	△227	△87.4%
キャリアソリューション（人材紹介、再就職支援）	9,777	△506	△4.9%	2,297	+80	+3.6%
アウトソーシング	27,077	+14	+0.1%	6,919	+964	+16.2%
ライフソリューション	4,882	+190	+4.1%	224	+75	+50.6%
地方創生ソリューション	2,173	△79	△3.5%	△1,555	△253	-
消去又は全社	△3,221	△409	-	△6,647	+100	-
合計	244,670	+5,322	+2.2%	14,512	+8,656	+147.8%

\* 第1四半期連結会計期間より、子会社再編に伴い、一部子会社のセグメント区分を変更。また、「グローバルソーシング」の営業損益を個別開示。前年同期比については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しています。

## 主要セグメントの増減理由

エキスパートサービス	派遣需要は、前年同期からは減少した状態が続くが期初からは改善。 派遣スタッフの処遇向上に伴う料金改定により企業への請求単価は上昇。
BPOサービス	パブリックセクターからの受託のほか、企業の事業再編等に伴う業務の効率化や生産性向上を目的としたニーズが引き続き拡大。
キャリアソリューション	人材紹介事業の新規求人数は、前年同期から減少した状態が続いているが、減少幅は緩やかに回復。専門スキル人材や経験者の需要は高い。 再就職支援事業は、早期・希望退職者を募る企業が引き続き増加し、利用者が拡大。
アウトソーシング	福利厚生事業の新規会員獲得は大手・中堅企業で堅調に推移。会員向けサービスは在宅利用可能なeラーニングやECメニューの拡充により回復傾向にあるものの、外出自粛等により利用が減少。結果、補助金の支出は減少。
地方創生	緊急事態宣言の解除及びGo To トラベルキャンペーンによって一部で人の動きが回復したものの、再発令により再び停滞。淡路島ではシェフの新たなチャレンジを応援する「Awaji Chef's Garden」の募集を始めるなど、感染症拡大収束後に備えた事業の準備を開始。

## 3. 財政・投資の状況

(百万円)

	2021年5月期 3Q末	前期末比		増減要因
		増減	増減率	
流動資産	122,297	+21,320	+21.1%	現金及び預金の増加 19,597 百万円 たな卸資産の増加 1,202 百万円 有形固定資産の増加 1,251 百万円等
固定資産	39,815	+539	+1.4%	
資産合計	162,286	+21,845	+15.6%	
流動負債	82,366	+17,884	+27.7%	預り金の増加 21,158 百万円 買掛金の減少 1,776 百万円 賞与引当金の減少 1,545 百万円等
固定負債	32,594	△1,048	△3.1%	
負債合計	114,960	+16,836	+17.2%	
純資産合計	47,325	+5,009	+11.8%	親会社株主に帰属する四半期純利益 5,582 百万円 配当金の支払 758 百万円等
自己資本比率	22.7%	+0.0pt	—	

## 4. 2021年5月期（2020年6月1日～2021年5月31日）連結業績予想

新型コロナウイルス感染症への懸念は続いたものの、企業やパブリックセクターからのBPOサービスのニーズが伸長したほか、再就職支援事業の利用も拡大。今後の先行きに不透明感はあるが、引き続きBPOサービス及び再就職支援事業の需要が堅調に推移していることから、2021年1月13日に公表した2021年5月期の通期連結業績予想を修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
前回発表予想（A）	326,000	15,000	15,000	4,700
<b>今回修正予想（B）</b>	<b>330,000</b>	<b>17,500</b>	<b>17,500</b>	<b>6,200</b>
増減額（B - A）	+4,000	+2,500	+2,500	+1,500
増減率	+1.2%	+16.7%	+16.7%	+31.9%
（参考）前期連結実績	324,984	10,577	10,236	594
前期比増減率	+1.5%	+65.4%	+71.0%	+942.3%

## 5. 2021年5月期（2020年6月1日～2021年5月31日）配当予想

当社は、新規事業投資や設備投資などの成長資金を確保しつつ、経営基盤と収益力の強化に努め、企業価値の向上による株主利益の増大を目指しております。

通期業績予想を上方修正したことに伴い、当期の配当予想を一株当たり30円に修正いたします。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想（2020年7月17日公表）	－	19円00銭	19円00銭
<b>今回修正予想</b>	<b>－</b>	<b>30円00銭</b>	<b>30円00銭</b>
当期実績	0円00銭		
（参考）前期実績（2020年5月期）	0円00銭	19円00銭	19円00銭

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、今後様々な要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

四半期ごとの連結業績及びセグメント別業績データは <https://www.pasonagroup.co.jp/ir/data/quarter.html> に掲載します。

本資料記載の将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であり、その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行っていただきますようお願いいたします。